

令和 8 年第 7 回美郷町議会定例会 行政報告より

※内容を一部編集しています

令和 8 年第 7 回美郷町議会定例会の開会にあたり、行政報告並びに提出いたしました議案の概要等を申し上げ、招集のあいさつといたします。

(大雨に伴う災害対応について)

はじめに、7 月 29 日及び 8 月 1 日からの大雨に伴う災害対応について報告いたします。

7 月 30 日、大雨の影響により、町内を流れる横手川の水位が氾濫危険水位を超えたことなどを受け、午前 6 時に美郷町災害警戒部を設置し、テレビ回覧板、町公式 LINE や防災メールなどで注意を呼びかけました。その後、天候の回復を受け、同日正午に警戒部を解散いたしました。

また、8 月 1 日、本町にレベル 3 大雨警報が発表されたことを受け、同日午後 10 時に美郷町災害警戒部を設置、8 月 2 日、横手川の水位が氾濫危険水位を超えたことなどを受け、午前 6 時、南ふれあい館にて自主避難所を開設いたしました。その後、災害の危険性が低下したことから、同日正午に自主避難所を閉鎖、午後 2 時 30 分に警戒部を解散いたしました。なお、避難所に避難された方はおりませんでした。

この大雨による主な被害等についてですが、住家等への被害として、床下への浸水が 5 棟、農地への被害として、大豆圃場等約 4.6 ヘクタールの冠水、農地の畦畔 5 カ所やため池の堤体の一部の崩落等がありました。被災された方々にお見舞い申し上げます。なお、町では、住家の床下浸水被害に見舞われた方に見舞金を支給いたしました。

このほかの被害ですが、六郷温泉あったか山源泉ポンプ小屋付近で、土砂崩れが発生し、このポンプ小屋が土砂に埋没する被害がありました。加えて、あったか山源泉に通じる国との併用林道である町道湯田川線でも土砂崩れが発生し、重機等が通行できず、源泉ポンプ小屋の復旧が行えない状況となっております。今後、町道の復旧状況等を見極めながら、

源泉ポンプ小屋の復旧について、検討してまいります。

なお、この土砂災害により、源泉の揚湯量が低下しているため、現在あったか山では露天風呂の利用を休止し、内湯のみで営業を継続しております。

(こども育みひろばについて)

次に、整備を進めてまいりました「こども育みひろば」について報告いたします。

7月21日、完成式典及び町民の方を対象とした内覧会を開催し、内覧会には67人が参加しました。7月23日の供用開始以降、8月23日までの約1か月間の利用者数は、4,195人で、このうち町内利用者がおよそ2割、町外利用者が8割となっております。町外利用者の割合が高くなっておりますが、新規施設として関心を持っていただいていることに加え、周辺地域からも利用先の一つとして選ばれていることや、帰省に伴う利用が多かったことが、その要因と考えております。

(ラベンダーまつりについて)

次に、美郷町ラベンダーまつりについて報告いたします。

6月6日から6月28日までの23日間、美郷町ラベンダーまつりを開催いたしました。期間中は、飲食ブースの設置やラベンダーの苗の販売などの各種物販、ラベンダーの摘み取り体験などの催しを行いました。

今年は、春先からの天候に恵まれ、ラベンダーの生育も順調で、例年になく、開花を長く楽しめる状況となりました。来園者数は約9万6,000人、ラベンダーの摘み取り体験人数は3,293人となり、町内外から多くの方にご来園いただきました。

(令和8年熊本地震に係る職員派遣について)

次に、令和8年熊本地震に係る職員派遣について報告いたします。

総務省から秋田県を通じて、熊本地震の災害対応に当たる職員の派遣要請があり、8月29日から9月6日までの9日間、熊本県上益城郡(か

みましきぐん）嘉島町（かしままち）へ、住家被害認定調査業務に従事する職員１人を派遣しております。

（各課の個別の取り組みについて）

次に、各課の個別の取り組みについて報告いたします。

はじめに、総務課関係ですが、今年度の前期職員採用試験は、大学卒業程度を対象とした一般行政職をはじめ６区分で募集を行い、第１次試験は３４人が受験し、３人を採用候補者名簿に登録いたしました。また、後期職員採用試験は、高校卒業程度を対象とした一般行政職において実施します。

そのほか、今年度からの新たな取り組みとして、行政事務に理解を深めていただき、行政をもっと身近に感じてもらうことを目的に、行政事務出前講座を実施しております。町職員が講師となり、７月１０日に総務課、８月６日に議会事務局の講座を実施し、延べ３７人が参加しました。今後も来年度にかけて実施を予定しておりますので、随時、開催日程等を広報や町ホームページでお知らせいたします。

次に、福祉保健課関係ですが、５月１５日から７月３日まで早朝総合健診の結果説明会を実施いたしました。

各健診の受診状況は、特定健診が対象者３，００４人のうち１，４１８人、健康診査が対象者４，０２９人のうち１，２２３人が受診しました。各がん検診は、大腸がん２，６８２人、胃がん１，５７３人、肺がん２，８２４人、乳がん７２１人、子宮がん６２２人、前立腺がん１，１７１人が受診しております。

今後は、２日間の追加健診や医療機関での受診を勧奨し、受診率向上に努めてまいります。

次に、農政課関係ですが、６月１８日、七滝「水の森」植樹事業を実施し、町内小学校の４年生児童と関係者など１６２人が、ブナの苗木２００本を植樹いたしました。また、６月２８日、旧花岡スキー場跡地にて、薬樹の森づくり活動植樹事業を実施し、公益社団法人東京生薬協会会員と関係者など６０人が、ホオノキの苗木１００本を植樹いたしました。

た。同事業では、これまで植樹したホオノキの間伐材を活用したコースターを製作し、参加者等に配布するなど、生菓の里美郷のPRを実施しております。

東北大学大学院農学研究科との連携事業として、6月21日、美郷町ラベンダー園にて、新たな成分の発見を目指し、同研究科関係者による美郷雪華の試料採取が行われたほか、翌日の22日には、美郷中学校にて、中学2年生を対象とした出前講座を開催いたしました。講座では、研究科長及び学生などから研究や大学生活など様々な視点からご講演いただきました。

8月31日現在、鳥獣被害対策実施隊により、熊10頭、猪8頭、鹿7頭を捕獲しており、引き続き箱罠やくくり罠を設置するとともに、防災行政無線や町ホームページ等で注意喚起を図ってまいります。

次に、建設課関係ですが、6月から8月末までの主な発注状況については、一般会計では工事が舗装補修工事2件、道路維持工事3件、歩道整備工事1件、橋梁補修工事2件、河川工事1件、町営住宅設備工事2件、公園工事5件、業務委託等として、橋梁点検業務2件、都市計画マスタープラン等策定業務1件、物品購入として、自走式草刈機1台を発注し、発注率は85.7%となっております。

また、上下水道の企業会計では、工事が施設改修工事6件、業務委託等として、測量設計等業務1件、施設保守点検業務3件を発注し、発注率は71.2%となっております。

次に、教育推進課関係ですが、タイ王国ノンタブリー県第一初等教育局との教育交流協定に基づく事業として、アニュラチャプラシットスクールへの6回目の訪問交流を8月17日から8月21日までの日程で実施いたしました。参加した美郷中学校の生徒12人は、文化の違いを肌で感じる機会として、授業への参加やホームステイ、タイの伝統文化などを体験しました。

学校間交流については、千畑小学校と東京都港区立御田小学校との50回目となる交流が行われました。7月24日から7月26日まで千畑小学校の児童12人が東京へ訪問、8月7日から8月9日まで御田小学

校の児童 29 人が来町し、町内で交流 50 周年の記念式典や祝賀会を開催するなど、今後の交流活動の発展を確認し合ったところです。

また、8 月 25 日、26 日、仙南小学校と東京都文京区立千駄木小学校との 7 回目となる交流が行われ、千駄木小学校の児童 16 人が来町しました。なお、仙南小学校の児童は来年 1 月に千駄木小学校を訪問する予定です。

そのほか、7 月 28 日、30 日及び 31 日、「ミズモの郷キャリアスクール」を実施いたしました。町内 38 事業所からご協力をいただき、町内小学校の 5、6 年生児童 227 人が職場体験活動を行いました。

次に、生涯学習課関係ですが、6 月 13 日、7 月 4 日、7 月 25 日、美郷町公民館を主会場に、北ふれあい館、中央ふれあい館をリモート会場として「美郷カレッジ」を開催いたしました。令和 8 年度の共通テーマを「讃（さん・たたえる）」とし、6 月 13 日は、ねりま健育会病院長 酒向 正春（さこう まさはる）氏、7 月 4 日は、千葉市美術館長 山梨 絵美子（やまなし えみこ）氏、7 月 25 日は、美郷町出身の写真家 加藤 明見（かとう あけみ）氏を講師に迎え、延べ 280 人が受講されました。

6 月 20 日、総合体育館リリオスにて、ヨネックス株式会社との連携事業「親子バドミントン教室」を開催いたしました。北京、ロンドンオリンピック 2 大会連続で出場された 池田 信太郎（いけだ しんたろう）氏を講師に迎え、小学生と保護者及び町内のバドミントン関係者あわせて 104 人が参加しました。

8 月 15 日、美郷町公民館にて「美郷町二十歳の集い」を開催いたしました。当日は対象者 127 人が出席し、記念式典、マジシャンのブラボー中谷氏による記念講演のほか、恩師と語る会を行い、二十歳の節目を祝いました。